



発行責任者:公明党 河内長野市議会議員 三島克則

住所:河内長野市高向 838 番地の 1

TEL&FAX:0721-52-6158 携帯:090-9709-4611

メールアドレス:m-340@gaia.eonet.ne.jp

ホームページ:<http://komei-mishima.jimdo.com/> または 三島かつのり で検索



平成27年 3月議会 個人質問報告

質問1 大規模災害における災害弱者対策について。

問 平時からの避難行動要支援者への配慮、支援を行うことが、不安解消につながるが。

答弁 要支援者への日頃から声掛け、見守り活動など、日常生活の中で要支援者が地域社会で孤立することのないことが、災害時等いざというときの備えになると考えている。支援の在り方について、出前講座や地域の防災訓練などを通じ、意識醸成に努めたい。



問 医療機器を必要とする方たちへ避難所等における医療機器電源の確保について。

答弁 市内41箇所の指定避難所すべてに発電機を整備しており、人命維持に電気を必要とする方について、地域支援者のご理解により優先的に発電機を利用していただくことが可能と考える。福祉避難所においては非常用電源がない施設もあり、今後、非常用電源設備の確保に努めたい。

質問2 創意工夫で地方創生を。

問 マンパワーを最大限に生かした、商店街等におけるにぎわいまちづくりの創出について。

答弁 イベント時以外にも空き地や道路などの公共空間が活用できるよう、地域のNPOとも協力し関係各所に働きかけを行いたいと考えている。

問 定住者や新しい人の流れをつくるため、Uターン者やIターン者、そしてJターン者への促進について。

答弁 マンパワーや自然、歴史、文化を最大限に生かすことを念頭に置き、地域経済の活性化、都市魅力の向上、子育て支援や若者の就労環境の充実など更なる取組みを検討し、U I Jターン者の転入促進など新たな人の流れをつくりたいと考えている。



【U I Jターン】

都市部に住む人が地方へ移住する際の動きをアルファベットで表したもの。

「Uターン」は、出身地の地方から都市部に出てきた人が再び出身地に戻ることを。

「Iターン」は、出身地以外の地方に移住すること。

「Jターン」は、出身地近くの地方都市に移住することを指します。

質問3 市民皆様の健康長寿について。

問 健康診査、がん検診の受診率向上へ現状の課題と今後の展望は。

答弁 平成26年度から、大腸がん、子宮頸がん及び乳がん検診の無料クーポン券の未利用者に対して再度受診勧奨を行い、また、健診受診の動機付けの取組みとして、健幸アップチャレンジ事業を始めるなど、様々な方法で受診促進を図っている。今後も、受診率向上にむけ、保険事業の中で喫煙、飲酒、食事、運動など生活習慣に関する啓発や知識の普及に努めるとともに、効果的な勧奨方法の検証や受診機会の充実を図る。



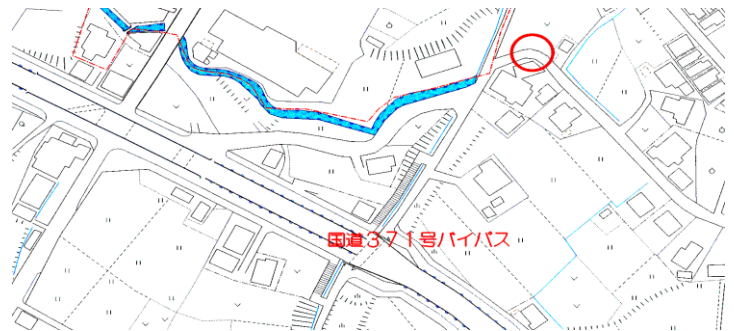
問 認知症対策は、早期発見・診断・対応の促進とともに、地域の理解を深めることが重要である。具体的な対策としてどのように考え、取組もうとしているのか。

答弁 認知症あったか安心マップを関係機関や市民に配布し、支援や相談場所を周知することにより、早期の対応につなげるよう努めている。また、認知症地域支援推進委員会を中心として、適切な認知症ケア体制を推進している。今後は、医師会や関係機関等と連携し、認知症初期集中チームの設置を進め、適切な認知症ケアを促進するとともに、認知機能の低下を自ら確認するためのチェックシートを市のホームページに掲載するよう進めている。(チェックシートは、3月31日に市のホームページに掲載しています。)

皆さまのお声が「カタチ」になりました！

～高向下町 水利蓋の音鳴りを改善～

右地図○印にある水利蓋は、経年劣化と自動車の往来で音鳴りがひどく、近隣の方々から改善を求めのご意見、相談を寄せていました。また、町会からの要望もあり、この度、ようやく改善が行われました。



皆さまのお声が実現しました！

～子ども医療費通院助成が中学校3年生まで拡充～



市広報紙（5月号）にも掲載していますが、平成27年4月から子ども医療費通院助成が中学校3年生まで拡充しました。これまで、子育て世代の多くの方から要望を聞き、議会質問、予算要望を積み重ねてきました。このたび、皆さまのお声が実現し、喜びのお声をいただき嬉しいです！